

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

<自動車整備科>

ディプロマ・ポリシーに掲げた学識と能力を身につけるため、次の基本方針に基づいてカリキュラムを編成します。

- ・自動車整備士養成施設の教育内容を十分網羅した専門科目により国家二級自動車整備士としての知識と技能を体感型の授業や豊富な教材を用いた実習を通して修得させる
- ・自動車のアフターサービス業界が必要とする職能を敏感にキャッチし、いち早く社会の要望に応えられる知識・技術を身につけさせる
- ・社会人として必要な素養を個々がアウトプットする機会を与えながら、キャリア教育を通して醸成する

<高度自動車工学科>

ディプロマ・ポリシーに掲げた学識と能力を身につけるため、次の基本方針に基づいてカリキュラムを編成します。

- ・自動車整備士養成施設の教育内容を十分網羅した専門科目により国家一級自動車整備士としての知識と技術を実践的な授業を通して修得させる
- ・常に発展し続ける新技術を授業に取り入れ、修得させるとともに、将来の技術進歩に対応できる主体的な学びの素養を身につけさせる
- ・インターンシップを通して実践的な技術やコミュニケーション能力を身につけさせる

<車体整備専攻科>

ディプロマ・ポリシーに掲げた学識と能力を身につけるため、次の基本方針に基づいてカリキュラムを編成します。

- ・自動車整備士養成施設の教育内容を十分網羅した専門科目により車体自動車整備士としての知識と技能を十分な実習時間を通して修得させる
- ・車体整備の基礎理論となる車体構造と自動車材料の知識を修得させる
- ・インターンシップを通して実践的な技能を身につけさせる

<国際自動車整備科>

国際自動車整備科の目標とする人材像は、「確かな整備技術力と適切なお客様対応を兼ね備えたトヨタのサービススタッフ(整備士)」です。

入学初年の国際自動車整備科1年次は、2年次、3年次の学習に必要な日本語能力の修得と、基本的な知識・技術の修得を目指します。

- 日本語による専門教育に対応できる能力と基礎的な自動車技術の学習
- 日本語能力試験N2取得のための日本語の学習
- 国家二級自動車整備士資格取得に必要な基礎数学の学習

また、国際自動車整備科の2年次と3年次の学習内容は自動車整備科と同じですので、目標とする人物像の詳細、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは自動車整備科をご参照ください。